

(4)各委員会の意見発表

① 第1委員会

「自然環境にやさしいまちづくり」



それでは、第1委員会の意見を発表します。

第1委員会のテーマは「自然環境にやさしいまちづくり」です。このテーマについて考えるため、私たちは、8月1日に生物多様性センターの施設見学を行いました。

そこで、私たちは、外来種をほかくする装置や、在来種と外来種の関係について学びました。そして、ミシシippアカミミガメの好きなことや習性に対応していて、一晩に1ぴき以上つかまえられる効率的な方法だったので、すごいと思いました。また、外国などから持ちこまれた生き物を外来種といいます。地域にもともといる生き物を在来種といいます。在来種は保護し、外来種はく除します。外来種は、その地域全体にえいきょうをおよぼします。例として、クビアカツヤカミキリは日本のシンボルの桜をからしてしまっています。外来種がく除されるのは、人間が持ちこんだからです。外来種を減らすため、見つけたら生物多様性センターに連らくしてください。

また、アライグマが特定外来生物となっていて、畑などをあらしたり、絶めつ危ぐ種を食べたり、生物多様性の関係をくずしているので、箱わなでつかまえなければいけないことがわかりました。

その後、私たちは、施設見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「自然環境にやさしいまち」にするためには、何をすればいいか考えました。

それでは、私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

ぼくは、生物多様性^{せい}センターへ見学に行って、生物多様性^{せい}にいろいろなめぐみがあることがわかりました。ですが、その多様性^{せい}が人の手でこわされていることもわかりました。

人間がこわしてしまったのなら、それを直すのも人間の責任^{せきにん}だと思います。まず、今の生態系^{せいたいけい}をこれ以上こわさないために、ごみやペットを捨^すてるなという呼びかけをすることが必要だと考えます。

一人一人が他人事ではなく自分事^よだと思い、「自然環境^{かんきょう}にやさしいまちづくり」を進めていくことが、名古屋に必要なことだと思います。

○子ども議員

名古屋を「自然環境^{かんきょう}にやさしいまち」にするために、私^{わたし}は緑地面積を減^へらさないようにしたいと思います。今は、日本の人口が増加^{ぞうか}し、農地・山林^{げんしょう}が減少^{げんしょう}しています。生き物にとっては生きづらい環境^{かんきょう}になってしまいました。なので、まず私^{わたし}たちができることは、生き物をおやみにあつかわないことだと思います。

ふだん、花や虫をとっているひとは、少なくはないんじゃないでしょうか。植物を減^へらさないよう、生き物が生きやすいよう、自分たちもできることはあると思うので、心がけて生活したらよいと思います。

○子ども議員

私は今回、桜をからしてしまうクビアカツヤカミキリという特定外来生物がいて、発見したら生物多様性センターに連らくするということを学びました。瑞穂区は、山崎川という桜の名所があります。もしそこにクビアカツヤカミキリが増しよくし、かれてしまうと、大勢の人が楽しむ花見ができなくなります。

クビアカツヤカミキリの特ちょうは、全体は黒色で光たくがあり、首のあたりが赤色で、全長2.5から4センチで、木くずみたいなふんを出すことです。

ほかにも生物多様性の問題はたくさんあります。重要だと思うので、大勢の人に知ってもらいたいです。

○子ども議員

名古屋市は、全国で第4番目の人口をよゆうする大都市で、今では、市街地の拡大により、生き物たちのすみかはかなり少なくなっているということを学びました。

みなさんは、生物多様性という言葉を知っていますか。私たちは、生物多様性という言葉も学びました。生物多様性とは、さまざまな生き物のつながりの豊かさのことです。私たちは、そのつながりに支えられて生きています。

例として、食べ物。米、肉、魚かいなどあらゆる生き物の命をいただいています。生き物は大切な資源です。生き物がすみ続けられるよう、身近な自然を守り、育てていきましょう。

○子ども議員

みなさんは、アライグマにはどのような印象がありますか。私は、^{わたし}施設見学に行く前は、畑をあらすだけのかわいい動物だと思っていました。本当にそんなのかが気になって、施設^{しせつ}でアライグマのことを調べてきました。アライグマは、畑をあらすだけでなく、外来種^{きけん}という危険な動物で、絶めつ^{ぜつ}危ぐ種^きを食べることもあるそうです。

^{わたし}私が思っていた印象とは少しちがったのでびっくりしました。

私は、施設見学^{しせつ}などで学んだことを通して、アライグマなどの外来種^{しゅうらい}のことをもっと勉強して、将来に役立てていこうと思います。

○子ども議員

外国や日本国内の別の地域^{ちいき}から人間によって持ちこまれた外来種というものがあります。外来種は、日本の生態系^{せいたいけい}、人間生活、農林水産などにえいきょうをおよぼします。そして、日本でも、ことし6月に新しい外来種が発見されています。生息してしまっただけで、以上、在来種^{ざいらい}の保全^{ほぜん}だけでは減らないので、しっかりと外来種^{ぼうじょ}の防除をしていかなければいけないと思います。

また、ぼくたちの中で生物^かを飼っている人などは、その生物を自然に放さないことなどの小さなことから取り組んでいくことが大切だとぼくは思います。

○子ども議員

私は、外来種がおよぼすえいきょうについて最も印象に残りました。外来種は、持ちこまれた地域にさまざまなえいきょうをあたえます。アライグマやハクビシンは畑などをあらして農作物にひ害をあたえます。カミツキガメは人にかみついてけがをさせます。そしてオオクチバス、ブラックバスは在来種を食べてしまいます。

だから、「自然環境にやさしいまち」にするには、外来種の生態系をきちんと調べ、ほかくし、く除し、今後に役立てていくことが大切なのだと思いました。

○子ども議員

私は、生物多様性センターを見学しました。そこで、私は外来種、在来種について学びました。人が海外から持ちこんだ植物や動物を勝手に捨てたりすると、その外来種が在来種を食べたりして、日本の自然にえいきょうをおよぼしています。そのため、センターの人は動物などをほかくする装置を設置しました。アライグマ、ハクビシンをつかまえ、く除しているそうです。

私は、生き物が大好きですが、かわいいという理由だけで飼うことはしないで、責任を持って飼うことが大切だと思いました。

○子ども議員

私は、名古屋の自然環境を守るためには、外来種をく除したり、在来種を保護することが大切だと思いました。ミシシippアカミミガメに、そこで注目しました。ミシシippアカミミガメは、外来種で、わなをかけてく除されていて、そのわなは習性を利用していることを知りました。そこで、ほかにもアライグマなども好きなものを利用していることを学びました。

このように、外来種をく除したり、在来種を保護することは自然環境を守ることにつながることがわかりました。

○子ども議員

私は、なごや生物多様性センターを視察して、特定外来生物のアライグマがニホンガメなどの絶めつ危ぐ種を食べていることが印象に残りました。ミシシippアカミミガメという外来種はよく見かけるので、カメが絶めつ危ぐ種と聞くとおどろく人も少なくないと思います。

そこで、地元の小学校、中学校に訪問し、生物多様性の危機についてより多くの人に知ってもらうイベントを開きいするのはどうでしょうか。ほかにも、生物多様性について考えるクイズラリーやスタンプラリーなどもいいと思います。

○子ども議員

私は、8月1日になごや生物多様性センターに行き、いろいろなことを学びました。そして、外来種が日本に来て在来種が少なくなっていることを学びました。そこで、外来種をほかくするわなや外来種を見ました。わなにはたくさんの工夫がかくされていておどろきました。

生物は、食料や木材、薬品など私たちの生活を支えてくれています。そんな生物は人間によって住む場所がどんどんなくなってきています。そこで、名古屋を「自然環境にやさしいまち」にするには、みんなが小さな命を大切にして、生物が生きやすいように心がければいいと思いました。

私たち第1委員会は、このようなことが名古屋を「自然環境にやさしいまち」にするために必要だと考えました。

これで、第1委員会の発表を終わります。



■ 中田総務環境委員長の答弁

第1委員会のみなさん、この議場のみなさんに自分の思いをしっかりと伝えることができました。大変すばらしい発表でした。

今回、^{わたし}私たちは生物多様性^{せい}センターを見学し、このまちにもともと生息している動植物たちが人間によって持ちこまれた外来種によって^{ぜつ}絶めつしてしまうおそれがあることを知りました。

そこで、生物多様性^{せい}センターでは、^{ざいらい}在来種の^{ちゆうさ}調査・^{ほぜん}保全、外来種のほかくを通して、名古屋の生物多様性^{せい}を守っていることがわかりました。このような見学を通じて、みなさんはそれぞれの^{してん}視点で生物多様性^{せい}を考えることができたのではないかと思います。

そして、子ども委員長と子ども副委員長のもと、今回のテーマである名古屋市を「自然^{かんきよう}環境にやさしいまち」にするために必要なことについて、11名の委員のみなさんからは、さまざまな^{ていあん}意見や提案が出ていました。みなさんの力を合わせて活発に^{ぎろん}議論を行った結果、第1委員会として^{りっぱ}立派な意見発表をつくり上げることができ、^{わたくし}私たち大人の議員も大変感心をいたしました。

この子ども市会で学んだことや^{けいけん}経験したことを生かして、より具体的に考え、そして行動してほしいと思います。そして、ぜひご家族やお友達にも伝えていただきたいと思います。



わたし
私たちが議会も、みなさんからいただいた^{ていあん}提案をしっかりと受けとめて、名古屋市を「自然環境^{かんきょう}にやさしいまちづくり」にするため、より一層^{いっそう}努力をしてまいります。

今回、こうしてみなさんと出会い、さまざまな意見をいただきましたことは、私^{わたくし}たちにとっても非常に^{ひじょう}大切な^{けいけん}経験となりました。この第1委員会を担当^{たんとう}させていただきましたうえぞの副委員長、さし副委員長、指導^{しどう}主事の^{ひらい}平井先生にも、心より^{かんしゃ}感謝を申し上げます。

第1委員会のみなさん、3日間という短い期間でしたけれども、本当にありがとうございました。おつかれさまでした。

